

2025年7月1日



たてくるろジオパーク

だより 第80号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

 https://facebook.com/tatekuro

立山黒部ジオパーク協会 令和7年度 定時社員総会を開催しました

6月7日（土）に、令和7年度一般社団法人立山黒部ジオパーク協会の定時社員総会並びに講演会を舟橋村の舟橋会館で開催いたしました。令和6年度の事業・会計報告、及び令和7年度の事業・予算案について、並びに理事の選任について、会員の皆様のご承認をいただくことができました。

総会の後には、魚津埋没林博物館の石須秀知館長に「植物から立山黒部ジオパークの特色を考える」の演題でご講演いただきました。

片貝川沿いの過酷な環境に自生する「洞杉」、2000年前の巨木林の跡といわれる「魚津埋没林」、扇状地の特徴的な植生の「杉沢の沢スギ」などの生態のほか、気候変動に対応した植物の生態、分布の変化について分かりやすくお話いただきました。



終わりに、大きな高低差、多様な地形・地質、豊かな水をめぐる環境がある立山黒部ジオパークには、温暖化に対応した様々な植物の生態の変化を見ることができるので、今後もその変化を注視していかなければならないとお話いただき、会員のみなさんも思いを新たにされたと思います。



5/28,31 ジオガイドスキルアップ研修



今回のジオガイドのみなさんのスキルアップ研修は5月28日、31日の2回にわたって、日本植物研究所の佐藤所長を講師にお招きして行いました。28日は黒部市生涯学習文化スクエアぷらっとで、宮崎の鹿島樹叢の樹木や草本についてお話いただき、31日は、講義の内容を踏まえ、朝日町にて現地研修を行いました。

ヒスイ海岸駐車場を出発し、周辺の植物を解説いただきながら宮崎鹿島樹叢を目指しました。宮崎鹿島樹叢では、1日目の講義で紹介された、お目当てのコシノチャルメルソウとクロヒメカンアオイを参加者全員で探し回った結果、無事見つけることができました。講義内容を実地で確認できて、実のある研修となりました。



6/1 ジオパーク散歩 in 大岩山日石寺

この日はあいにくの雨模様でしたが、雨中の静寂のうちに、寺院の落ち着いた雰囲気や、巨岩や溪流では大地のエネルギーと時の移ろいを感じることができたと思います。大岩山を象徴する摩崖仏からは、大陸から千万年単位の時間をかけて日本列島が分離してきたという壮大な地球の営みを感じることができました。本堂を出て周辺を巡る途中、ゴマギという植物の説明で、指で擦るとゴマの香りがするというので、やってみると本当に香ばしいゴマの香りがしたのが新鮮でした。



6/5 ジオパーク散歩 in 入善

6月5日(木)に入善町でジオパーク散歩がありました。園家山キャンプ場をスタートし、ガイドの案内のもと園家山キャンプ場、入善海洋深層水活用施設、高瀬湧水の庭などを巡り、入善町の水の恵みを学びました。高瀬湧水の庭では、紙コップ片手に2つの湧水の飲み比べ、参加者同士で2つの湧水の違いについて語り合う場面もありました。とても暑い日でバテそうになりながらも、なんとか約3kmの道のりを歩き切ることができました。



6/11 ジオパーク散歩 in 呉羽丘陵

呉羽山丘陵でのジオパーク散歩は、民俗民芸村東側駐車場をスタートし、陶芸館横の露頭や呉羽山・桜の広場展望台、五百羅漢などを巡りました。いつもなら人が多い呉羽山展望台ですが、この日は雨のせいほとんど貸切状態でした。残念ながら立山連峰は雲がかかって見ることはできませんでしたが、ガイドが写真を用いて展望台から見える山を解説してくれました。また晴れた日にリベンジしてみたいと思います。



6/13 ジオパーク散歩 in 滑川

6月13日(金)に滑川市の行田公園でジオパーク散歩があり、公園内の植物などを歩きながら観察しました。行田公園の行田という名前は、もともとは京都祇園社の荘園の一部で祇園田と呼ばれており、それが訛って「ぎょうでん(行田)」と呼ばれるようになったそうです。行田公園のハナショウブがちょうど見頃を迎えており、ハナショウブを目当てに幼稚園児からご夫婦まで幅広い年代の方が足を運んでおられました。



7月のジオパーク散歩

*参加費 500円

立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しみませんか？

詳細は協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAXまたは電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

※最小催行人数は4人です。申込締切日までに最少催行人数に達しない場合は中止します。

募集中！



ジオパーク散歩 in 水橋

〈昔の大河「水橋川」が河川名を変え、「立山橋」が橋名を譲ったのはなぜ？〉

【日時】7月7日（月）9：30～12：00（受付9:15～）

【集合場所】水橋ふるさと会館 駐車場

【見学場所】水神社、玉永寺、蓮勝寺、旧常願寺川の渡し場跡、東西橋など

【持ち物】雨具、飲物

【対象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

※受付は終了しました。

ジオパーク散歩 in 美女平

〈巨木の杉の森を歩こう！〉

【日時】7月16日（水）9：30～12：00（受付9:15～）

【集合場所】アルペンルート美女平駅

【見学場所】火災杉などの巨木を見ながら美女平遊歩道を歩きます。

【持ち物】歩きやすい服装と靴、飲物、雨具など

【対象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

日本一小さい村【舟橋村】でジオパーク散歩

〈扇状地で小段の古墳群と、ぼんどり騒動の無量寺を訪ねましょう〉

【日時】7月27日（日）10：00～12：00（受付9:45～）

【集合場所】富山地方鉄道越中舟橋駅前

【見学場所】舟橋駅前-無量寺-竹内天神堂古墳-白岩川河川公園

【持ち物】雨具、飲物など

【対象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】7月23日（水）定員10名先着順

最近のジオパーク散歩の様子

6/20の称名滝では滝にかかる虹を楽しめました。



ジオパーク体験学習



6月13日、黒部市立若栗小学校でジオパーク体験学習の事前学習を行いました。昨年度、能登半島地震の被害の関係で、トロッコ電車に乗る体験学習ができなかった学年があるため、5・6年生合同での学習です。子どもたちは、黒部峡谷がどのようにしてできたか等、自分の考えを積極的に話し、楽しく実験に取り組んでいました。来週に行われる実際の体験学習への興味・関心がより高まったようです。

この事前学習の後、16日にはいよいよジオパーク体験学習に出かけました。雨が心配されましたが、幸い活動時は止み、予定どおり実施することができました。連携排砂の関係もあり、急流黒部川の激しい流れに子どもたちは驚いていたようです。能登半島地震の被害の関係で、今年は檜平まで行くことができないため、立山黒部ジオパーク交流施設わくわく広場「うなジオ」の見学ややまびこ遊歩道の散策を行いました。ジオガイドの解説もあって、子どもたちは黒部峡谷やジオパークのこと等たくさんのお話を、体験を通して学ぶことができたようです。



事前学習の様子



いよいよ出発！



「うなジオ」にて



黒部川の速い流れ

身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット

（富山県気候変動適応センター）

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！



<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>



下立の大理石（黒部峡谷エリア） — 1億年の時を超えて、現代建築に息づく大地の営み —

この岩石は、温泉環境で沈殿したトラバーチンという石灰岩です。トラバーチンを覆う砂岩に含まれるジルコンの年代から、1億年前に作られたことが分かりました。このトラバーチンは、国会議事堂が作られる時に内装材として切り出され、縞メノウ（オニックス）のような外観の大理石（マーブル）とされ、「オニックスマーブル」という石材名で流通し、国会議事堂の参議院・衆議院両院玄関、階段・二階エレベーターホール・銅像台座で使用されています。我が国の民主主義国家の象徴である国会議事堂で大量に使用されていることと、白亜紀のトラバーチンは学術的にも重要とされ、「富山県の岩石」にも選ばれています。

黒部市では、林道工事の際に大量に見つかったものを保管し、宇奈月小学校や黒部宇奈月温泉駅などの内装材に使用しています。

今年3月から5月にかけて、下立ジオサイト保護・活用の事業で、子どもたちが描いた看板を含む誘導看板を5か所に設置しました。多くの人の目に留まり、下立の大地の営みが心に留まることを願っています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

ジオパーク 下立



富山市民大学

5月21日から富山市民学習センターで、令和7年度富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コースが、受講者50名超でスタートしました。これまで、次のような項目で、ジオパークとはどのようなものか、自然や文化、私たちの生活とどう関わっているのかなどについて、受講者のみなさんが毎回熱心に聴いておられます。

- ①5/21 「立山黒部ジオパークって何？ー立山黒部ジオパークの概要ー」立山黒部ジオパーク協会事務局長 今堀喜一氏
- ②6/ 4 「立山の自然と信仰ー立山曼荼羅の図像からー」富山県 [立山博物館] 館長 高野靖彦氏
- ③6/11 「最終氷期から現在までの立山の自然史」富山県立山カルデラ砂防博物館学芸員 福井幸太郎氏
- ④6/25 「小さな凸凹から見えるジオパーク」黒部市吉田科学館アドバイザー 國香正稔氏

このあとは、11月5日の最終回まで、計10回の開催予定です。



立山黒部ジオパークの概要



立山の自然と信仰



最終氷河期からの立山の自然史

〈編集後記〉

コロナ禍でしばらく中断し、昨年手探りで再開した「ジオカフェ」について、今年度も取り組んでいこうと、先日、今年度最初の打合せをしました。一般のみなさんにジオパークのことを知っていただくため、わくわく楽しいものにできれば、とあれこれアイデアが出て、今年度の第1回目が今月開催されることになりました。本誌と前後してご案内が届くと思いますので、みなさまご参加くださるようお願いいたします。

ジオパークだよりへのご意見などこちらへどうぞ！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

